

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2020 年 12 月 30 日
事業所名： 夢門塾ゆうゆう総社

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	1	0	二階建ての運動室なので、活動内容によっては少人数で活動出来るようチーム分けや環境設定などに配慮している
	②	職員の配置は適切である	5	1	0	・資格試験に挑戦して、加算配分に対応する ・ハローワークやホームページなどで有資格者の募集をする
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	0	0	・毎回必ず次亜塩素酸での消毒などを徹底して行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0	・面談の機会が少ない時もあるので、定期的に面談を行い隨時確認していく
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	・職員全員で把握に努め、改善点の意見を出し合っている
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	2	0	・公開先を提示して、職員全員で内容把握に努める
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	・ZOOMやYouTubeなどの研修を積極的に申し込み、可能な限り全職員が研修を受けていける環境を整え、機会を設けている
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	・毎月複数のアセスメント担当を決め、子どもたちの関わりや課題把握の機会を多く出来るようにしている
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6	0	0	・毎月の行事を決めた時点で、担当を決めみんなで意見や改善点を共有している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	1	0	・児童指導員を中心に、企画から指示書作りまでみんなで取り組んでいる ・同じ活動があまり続かない様にたくさんアイデアのストックをしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	1	0	・朝の時間を利用して当日の課題設定は行っているが、長期的な目標に対しては深く設定できていない部分もあるので、今後はその部分を強化していく
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	1	0	・自由時間も計画に沿って支援の一環として受け止め、全ての利用時間に各個人の課題に合わせた活動を計画出来るように意識している
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	・一ヶ月単位でリーダーを決め、リーダーを中心に当日の支援の内容や確認する一覧が明確にあるので、職員の一日の動きが把握しやすい
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	・必要であれば個人の記録をファイルに残したり、保護者へ手紙を書いて伝えたりしている
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	・職員全員でカンファレンスに取り組み、自発管に現在の課題提起や課題クリアの理由などが伝わるようにしてるので、モニタリングの時に正しい利用児の情報を伝えた上で話が出来ている
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	2	0	・ガイドラインの認知が足りない部分があるので、職員で研修する

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	6	0	0	・保護者の方に毎月声をかけ、下校時刻の連絡や、学校でのトラブルについて常に連絡を取り合っているので連携しやすくなっている
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	2	0	・移行支援会議を行い情報共有をしている
	⑱ 子校を卒業し、成績優秀なアイバー・ス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	1	1	・開所してから1人就労へ送り出したが、その時は保護者や相談支援には連携を図ったが、就労先とは連携していない。今後はその部分も意識する
	⑲ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	1	・社協や相談支援とは密に連携しているが、自発との連携は最初のみ ・移行支援会議などを積極的に開催していく
	⑳ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	・送迎の時に保護者の方から相談を受けた時は必ず管理者に伝達し、職員で検討し、対応している
保護者様への説明責任等	㉑ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	・契約書の内容を職員が周知出来るよう、職員で共有している
	㉒ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	0	0	・送迎時や電話などで相談を受けた時は直ちに共有し、対応を真摯に行っている
	㉓ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉔ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	・苦情窓口が管理者にある事を再度伝え、明確化していく
	㉕ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	1	0	・毎月配布している行事予定表やお便りを通して発信できている
	㉖ 個人情報保護に十分注意している	6	0	0	・個人ファイルは鍵付きの棚で管理している
	㉗ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	・子どもたちや保護者に対して、各々の理解度に合わせて対応している
	㉘ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	2	1	・コロナ禍で今は難しいので、終息の兆しが見えたなら参加出来るよう、情報集めをしておく
	㉙ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	0	・特にコロナウイルスの感染防止対策については常に新しい情報を共有している ・事故や防災などのマニュアルはすぐに確認出来るよう管理している
非常時などの対応	㉚ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4	2	0	・実際に避難訓練も行っているが、内容の伝達が足りない反省を生かし、今後は夢だよりなどで具体的に発信していく
	㉛ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	・毎年職員全員で研修に参加している
	㉜ いかなる場合でも身体拘束を行つかないについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	0	0	・現段階では身体拘束の事例は無い
	㉝ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	0	0	・その都度書類に記入して頂き、個別にファイリングしている
	㉞ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	0	2	・記録などには残しているが、ヒヤリハットの用紙への記入数が少ないので、今後は小さなことでも記入して安全の為にその都度改善を図っていく
	保護者様評価、自己評価についてまとめ				
<p>・コロナウイルスの猛威に対して職員一丸となり、ご家族や学校、その他の機関と連携しながら工夫していく一年間だった。 ・手洗い・うがい・マスクの徹底がなされ習慣となることで、消毒や感染症対策が行いやすい環境だった。 ・保護者の方が望んでいる保護者会や来所しての見学会などの行事が開催出来なかったので、コロナウイルスの終息の兆しが見え次第開催していくと思う。 ・実際に参加する研修が減った状況下で、オンラインの研修が増え参加しやすい場面もあった。今後も可能な限り職員が研修に参加出来る機会を確保して、スキルアップを図っていきたい。 ・平日の午前の時間を利用して、専門書の研鑽やカンファレンスなど、利用者の現状に合わせた職員全員のスキルの底上げをしていくと思う。</p>					